

デジタルツールを活用した、果物の遠隔収穫体験

株式会社パーシテック（京都府）

株式会社パーシテックは、センサーシステムによる温度・日照量等のデータ収集、ドローンによる農作物の育成状態の確認、遠隔作業支援システムとスマートグラスを用いた遠隔操作による農業技術の伝承等、スマート農業の機器を導入した取組を行っています。また、平成29（2017）年からは遠隔操作技術を用いて、農園と消費者を結ぶ遠隔収穫体験を実施しています。

遠隔収穫体験は、実家の果樹園を継ぐに当たって父親から収穫の作業に関する指導を受けるため、スマートグラス等の遠隔操作ができるツールを活用したことがきっかけで始まりました。

遠隔収穫体験では、参加者はパソコンの画面を見ながら収穫の指示を出し、農家の方がスマートグラスを着けて農園で果物を収穫し、農園での収穫の映像を通して参加者は自分が指示した果物が目の前に現れるような視覚的な面白さを感じることができます。収穫された果物は参加者に送付されるため、参加者は自分が収穫した果物を実際に食べることができ、楽しさと美味しさを感じることができる仕組みとなっています。子供たちからは「柿はこんなに密に実になるんだ。」「りんごってこんな風に実がつくんだ。」と驚く声が聞かれます。

今後も、子供たちが農業やデジタル技術に興味を持つきっかけを作るとともに、デジタルツールを活用して子供たちが楽しいと感じる体験を提供していきます。



遠隔操作技術を用いた果物の収穫